

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2854回 例会報告

2013年1月11日

点鐘・握手

ロータリーソング「我等の生業」

ゲスト並びにビジターの紹介

なし

誕生祝

1月1日 山澤夫人



本年初めての出席なので、あけましておめでとうございます。64歳です。女房に去年から負けたのは、ゴルフの回数、孫の子守り、元気です。女性は強いもので、年を取るにつれて元気になっています。私は腰が痛くて出不精になっています。女房より一日でも早く終わって、それだけを願っています。来週から、女房とは別に暖かい所へ行って来ようかなと思っています。

1月13日 広浜夫人



私も初めての出席なので、あけましておめでとうございます。一人だけの女房です。結婚して40数年、女房21歳、私25歳の時という事でお互い年を取りました。今でも、女房と結婚して良かったなあと思っています。私の幸せはお金、お酒、女房だけの女性です。今日も、「お父さん、何を楽しい事言ってくるのですか。」という事でお互いに察しがついています。お互いに元気で過ごしたいと思っています。私もよろしく、女房の方はもっともっとよろしくお願い致します。

1月14日 坪野君



52歳になります。年末年始の暴飲暴食の影響もあり一番太っている時期です。今年も5kg程太りました。例年、この頃から歩き初め、走り初めで体重を落としていく習慣にしています。昨日も今年初めてランニングをしました。魚津にいたのでしんきろうマラソンを走れる位、体重を落として練習し、是非、出場したいと考えている今日この頃です。

1月18日 根岸君



来週の18日が誕生日でピタリ賞だったのに今日になりました。卓話もやります。25分でやれという事で12ページの原稿を持ってきました。途中までやり、また続きをやりたいと思っています。2月にはW. C. Sの事を具体的にじっくり話します。18日に91歳になります。

会長挨拶

素晴らしい天候に恵まれ、絶好のスキー日和のようですが、日陰には雪があり、足元の良くないにも拘らず例会に出席して頂き誠にありがとうございます。

本日の誕生日、おめでとうございます。山澤さん、奥さまにゴルフの回数は負けたけど、スコアは勝っていると思いますがいかがでしょうか。広浜さん、奥さま一筋という事をこの場で言われたわけ



ですが、他の場所ではどう言われているのか知りたいものです。坪野さん、太った分だけ減量してしんきろうマラソンに参加したいのですが、2、3名誘って参加されたいかがでしょうか。根岸さん、91歳になっても健康で長生きされていることを見倣いたいものです。暴飲暴食をされず過ごされ、仕事一筋、ロータリー活動一筋にやって来られたからかなとも思います。

先回、予定されて省略させて頂きました会長年頭卓話であります。この時間を少し延長してやらせてもらいたいと思います。

本年度、田中作次会長はR・Iテーマとして“奉仕を通じて平和を(Peace Through Service)”を掲げ、それを受けて中尾ガバナーは地区運営方針として「Think, Change and Love Rotary」の心で目標を実行していきたいと言っておられます。

実際に実践をやっていくのが地区ロータリーの活動です。以上のR・Iのテーマ、地区の目標を受けて、年度当初、魚津RCとして6項目を挙げたわけであります。

- ① 会員同士の親睦と友情を深め品位ある例会の開催に努める。
- ② 委員会活動の活性化と活動の継続・発展に努める。
- ③ 広く市民にロータリー活動の理解と広報活動に努める。
- ④ クラブ活性化の為に新しい会員を迎える努力をする。
- ⑤ インターアクト地区協議会の開催 6月15日(土)
- ⑥ 60周年記念事業に向けての企画立案に取り組む。

市民にロータリー活動の理解と広報活動に努めるに関しては、12月18日に実施したつくし学園への慰問、インターアクトの魚津工業高校生・ロータリアンとの募金活動の広報活動がなされなかったことを反省しています。この後、暖かくなったら桃山の花桃の世話、海岸公園の清掃、水族館のあじさいの手入れがあります。会員の中に新聞社支社長さんもおられますが、広報活動をきちんとやっていないという事で各委員長、幹事の方でPRしてロータリーが地域に根差した活動をやっていることを知らせて頂けたらと思います。

⑤、⑥などこれらスタートの委員会もありますが、今年度は準備委員会という形になりますが、何月に何をどの形で実行委員会に渡されるよう、早目に開催してほしいと思います。

④は花丸で大変良くできましたという形になっています。入って来られることも大事ですが、入られた後も大変だと思います。

RCカレンダーでは月ごとに月間テーマを設けていますが、この1月はロータリー理解推進月間ですが、この事は活動の内容を理解し、そして深めていき活動をより着実なものにしていくねらいと、外へ向けての情報発信もあるのかなあと考えています。

今回の年頭卓話は半年間の会長・幹事の反省も含めて、例会・委員会の活動内容の報告を年次総会の時に報告をしてもらいましたが、残り半年間の活動に対しましても自分から進んで出来る範囲で活動して頂くことが魚津RCの活性化につながると思っています。信頼関係の中で親睦と友情を深め、楽しい魚津ロータリークラブにしていきたいと思っていますので、今後ともご協力ご支援をお願い致します。

前回例会後の理事会におきまして、7月からの役員についてノミニーには平崎暉夫さんに決定致しました事を報告致します。今年度入会された寺田さん、稲盛さん、川岸さんには残り半年間親睦委員会に所属して頂くことに決まりました。

まとまりのないお話になりましたが、会長年頭卓話とさせていただきます。

ノミニー挨拶 平崎さん

先日の理事会でご承認頂きました。本日、全体会でご承認頂きました。ノミニーとして今後頑張っていきたいのでご協力お願い致します。



幹事報告

- ・各団体より 年賀状
- ・魚津市交通センターより 「新春役員が集い」のご案内
- ・1月例会案内
1月18日 魚津西RCとの新春合同夜間例会 (グランミラージュ)

18:30点鐘 会費:3,000円

1月25日 卓話 生駒君、寺田さん (サンルート)
・1月SAA補助 中島、生駒、坪井君

出席報告 羽田出席副委員長

本日の出席者 36名 出席率90% 欠席者 4名
メイクアップ済み 大村さん 小浜さん 谷口さん 中川さん 中田さん
2852回のメイクアップ なし
2852回の修正出席率 86.84%→86.84%

ニコボックス報告 辻(英)ニコボックス委員長

- ・野澤さん→11年間皆出席できてありがとうございました。
- ・吉崎さん→何となく。

委員会報告

なし

本日の卓話

「私のおいたちと写真」 根岸君

私は1922年(大正11年)1月18日生まれです。本籍は群馬県勢多郡貝萱村三つ俣字三つ俣、実際は前橋市本町48番地です。



父の話によると生まれたのは忌まわしい関東大震災の前年で前橋から東京まで27里もあるのに夜になると東の空が真っ赤に染まった日が15日も16日も続いたそうです。大正11年というと第一次世界大戦後4、5年だったので大変不景気だった。

父は根岸家の三男坊で母は同じ町内で本町の近隣の加藤という大きな石材店の長女で〔くに〕。母は私を産み落とした後、産後の肥立ちが悪く産褥熱を患い一週間後に死亡したため、母の顔を見たことがない。大正末期は女性には大変な時代で、産婦人科は無かった。産気づくと近所にいた産婆さん(とりあげ婆さん)に祖母が電話したり、夫の父が自動車で迎えに行ったらしかった。

又、産婆さんは畑仕事や普段は家事仕事などをしていて、助産婦の経験豊かな老婦人が多かったようだ。又、当時は衛生観念も浅く不衛生な頃だった。

私を育ててくれたのは実の母〔くに〕の妹〔いわ〕。育ての母は明治生まれの優しく義理堅くしつかりやでした。親同士が話し合い、父はその後、朗を育てる為にと願い私の為に〔亡き、くに〕の妹〔いわ〕と結婚。母は3年後に弟〔国康〕を出産。私を育てながら6人の子供をもうけたが、私を初め兄弟姉妹を分け隔てなく本当に良く育ててくれた良い母でした。

昭和3年4月15日、前橋市立桃の井尋常小学校に入学。お釈迦様の甘茶祭りの翌日だったように覚えている。一クラス60人で6クラスあり、全校で2100人余りいた。桃組で担任は6クラスの内、一番年寄りの原沢又太郎先生、校長先生は秋山金次郎先生。校庭は広く、真ん中に3年生が5人手をつないでも届かない大王松という葉が20センチもあり普通は2本の葉なのに3本の針葉で葉束をつくる珍しい松の木だった。運動会にはその松の天辺から四方に万国旗が張られて見事なものでした。

小学一年生の国定教科書国語の1ページには片仮名で「ハナ、ハト、マメ、……、スズメモイマス」と書いてありました。二年生になってひらがなでした。「あめがやみました すずしいかぜがふいてよいこころもちです」など覚えています。

その頃、読売新聞社主催で全国の小学校の野球大会、健康優良児の表彰があった。桃の井尋常小学校にも野球部が在って、放課後学校から選ばれた生徒が毎日練習に励んでいました。春休みには市内の敷島公園の野球場で市内4小学校の交歓野球大会が行われた。3年生の時、アメリカの野球団が来

て、ベールレースを観に行った覚えがある。夏休みには全国大会があり、親の熱の入れようは今と変わらなかった。

健康優良児の表彰は、今思い出すと大きくて太った人が選ばれていたように思う。学友で早く死んだ人もおり、健康は太って大きい人が良いという事ではないと思う。私は1年生の頃から痩せて小さな子だった。1年生から6年生まで栄養「丙」で毎年、林間学校に通っていました。夏休みに行われ、学校から朝7時にバスが家庭まで迎えに来てくれて敷島公園の松林に張ったテントに入った。色んな運動教材が準備され、鉄棒、ブランコ、遊動円木などがあり、保健の先生と看護師さん二人が付き添ってくれた。バスが林間学校に着くと、先生が迎えてくれて、林の中のテントの教室へ引率してくれた。生徒は運動服に着替え、ラジオ体操、保健の先生に連れられて松林の小道を30分散歩、テントに戻り30分休憩、10時から夏休み帳の勉強、途中で20分休憩して勉強、12時には楽しい給食の時間等の内容だった。

四方拝には式典が行われた。春季皇霊祭、紀元節、新嘗祭、明治節、天長節の際には、全生徒が講堂に集まった。全生徒静粛の講堂に校長と教頭はモーニングに白手袋姿。正面に天皇、皇后両陛下のご真影が飾られ、式が始まると教頭の号令で一斉に最敬礼[45度に頭を下げる]。恭しく5秒ほどで直れの号令で辺りはシーンとして静まり息が詰まるほどの静けさだ。式次は進み、校長が教壇の中央に進むと、教頭は桐の箱に納まった教育勅語を恭しく捧げもって校長に渡す。校長は朗々と「朕思うに我が皇祖……」と読む。

服装は1年生から6年生まで久留米緋の着物に桐下駄を履き、肩から斜めに架けた真っ白いズックの鞆。4年生から冬は黒の小倉の詰襟に金ボタン。帽子は1年中、黒の羅紗地の学生帽で6月からは帽子の上から真っ白のキャップを被せた。夏は淡いグレーの霜降りで英国風の洒落た学生服を着た。

学校の正面を入ると左側に二宮金次郎の薪を背負って本を読んでいる姿の銅像があり、右側には白壁土蔵風の奉安殿（ご真影をしまっておく蔵）があり、そこを通る時には最敬礼をして通った。

その頃の桃の井小学校に在籍していた人に太平洋戦争の終戦時の第29代総理大臣、鈴木貫太郎がいる。貧しかったこともあり、生徒は大勢いたが、中学校に行く子は少なく、60人のクラスから4～5名程度だった。俳優の小林桂樹君がその一人のようだ。

私は桃の井小学校を昭和9年に卒業、4月に久留万高等小学校に入学した。偶然かも知れませんが担任の先生が小学校6年生の時の担任の浅川千秋先生の実弟の浅川静二先生で二年間受け持ちでした。テニスが上手でデビスカップのテニスのお話を良く聞かされました。

その頃、父は国産がない時代なのでアメリカ製のトラック2台、英国製のオートバイ。運転手一人を雇い、運送業をしていた。一日に東京3往復。東京と群馬県一円を商圈に忙しい毎日だった。

母は事務係として、事務の合間に車庫の二階で和裁の先生をしながら、私、3年生の弟、国康 二銭幼稚園の下の弟、隆治を育てていた。事務と和裁の先生と家事一切をこなした元気な母でした。

久留万高等小学校を卒業後、昭和11年に富山に出てきた。富山のネギシ写真館は私の父親の弟根岸栄一郎が社長をしていた。その方は東京のマルチ写真館といって宮内庁の御用達の写真師でした。富山の家は一人息子でさみしいので、親同士の話し合いで私をくれという事だったが、私が嫌だと言った。学校に行かなくてもいいから、小僧にしてくれとの望みで弟子入りさせてもらった。

久留万高等小学校を出たのは15歳でした。卒業式が済んだらすぐ父親と一緒に富山に出てきました。昭和11年春4月でした。その時は今の電気ビルの前は神通川廃川地で日満産業大博覧会の会場でオープンの日だった。会場の向かいの隣の空き地にドイツのハーゲンバックのサーカス団がいた。

前年昭和10年、大和が4階建てで完成し、エレベーターがついた。エレベーターガールが人気で若者はよく出かけました。

あとがき

小田原出張の帰り、大森貝塚を見学し、例会を欠席した。大森貝塚には二つの記念碑がある。「大森貝塚碑」と「大森貝塚碑」である。根岸さんのように正確な記録があると生じないことである。

根岸さんから卓話原稿を頂いた。卓話の続きが楽しみです。